

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-174200

(P2003-174200A)

(43) 公開日 平成15年6月20日 (2003.6.20)

(51) Int.Cl.⁷

H 01 L 33/00

識別記号

F I

H 01 L 33/00

テーマコード(参考)

N 5 F 0 4 1

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号

特願2001-373974(P2001-373974)

(22) 出願日

平成13年12月7日 (2001.12.7)

(71) 出願人 000005120

日立電線株式会社

東京都千代田区大手町一丁目6番1号

(71) 出願人 000002303

スタンレー電気株式会社

東京都目黒区中目黒2丁目9番13号

(72) 発明者 村上 元

東京都千代田区大手町一丁目6番1号 日立電線株式会社内

(74) 代理人 100083552

弁理士 秋田 収喜

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 発光装置及びその製造方法、ならびに発光装置の製造に用いるリードフレーム

(57) 【要約】

【課題】 発光ダイオード等の発光素子を用いた発光装置において、発光素子の発光効率を安定させ、動作信頼性の低下を防ぐ。

【解決手段】 発光素子と、前記発光素子の第1電極と電気的に接続される第1リードと、前記発光素子の第2電極と電気的に接続される第2リードと、前記発光素子、前記発光素子の第1電極と前記第1リードの接続部、及び前記発光素子の第2電極と前記第2リードの接続部を封止する透明性の絶縁体とからなり、前記第1リード及び前記第2リードの、外部装置との接続端子部が前記絶縁体の表面に設けられた表面実装型の発光装置であって、前記第1リードは、その一端が、平坦な底面を有するカップ状に成形され、前記発光素子は、前記第1リードの前記カップ状に成形された反射部内の底面に接着されており、前記反射部の、前記発光素子が接着された底面と対向する面が前記絶縁体の表面に露出している発光装置である。

図1

